

令和5年度
学校関係者評価報告書

学校法人 エイシンカレッジ

新潟こども保育カレッジ

令和6年6月7日

令和5年度 学校関係者評価報告書

学校法人エイシンカレッジ
新潟こども保育カレッジ
学校関係者評価委員会

学校法人エイシンカレッジ 新潟こども保育カレッジ 学校関係者評価委員会は、令和5年度学校自己評価の結果に基づき学校関係者評価を実施しましたので、以下のとおり報告致します。

1. 開催日時

日時：令和6年6月7日（金） 10:00～11:30

2. 開催場所

場所：新潟こども保育カレッジ 4F 実習室

3. 出席者

委員会の出席者は以下のとおり。

〈外部評価委員〉

南浩子（ほうゆう保育園園長）、野田和江（なでしこ青空保育園園長）

〈内部評価委員〉

学校長、副校長、教務主任

4. 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
- (3) 出席者紹介
- (4) 令和5年度事業報告
- (5) 自己評価結果に関する報告及び意見交換
- (6) 閉会

5. 自己評価結果に関する報告及び意見交換について

(1) 教育理念・目標

- ・教育理念及び目標は適切に設定されており問題はない。
- ・安定した入学者数を維持しており、これまで同様、丁寧な指導で、学校全体の学生数の維持もお願いしたい。

(2) 学校運営

- ・運営方針、事業計画は、教育理念、目標に沿って、作成及び運営されている。
- ・令和6年度からは、教職員に対し変形時間労働制を行っている。教職員の健康、メンタルヘルスに気をつけ、教育活動に支障のないように適正な運用に努めてほしい。

(3) 教育活動

- ・系列園や、外部講師と連携しながら、幅広い学びを提供できている。
- ・様々な資格を身につけることで、学生が現場における実践力が身に付くと期待する。
- ・論文執筆を通じて、教員が専門性を高める取り組みをしたことは評価したい。

(4) 学修成果

- ・幼稚園教諭専攻科に進学する学生が増加したことについては、学生に、今後の社会的ニーズに即した専門性を身につけることの重要性を伝えられているということ。今後も、社会的なニーズに合わせた人材を輩出することを期待する。
- ・継続した終了につながるよう、在学中からのキャリア指導や、何らかの形で就職後の学生のケアを期待する。

(5) 学生支援

- ・学校の方針として、クラス担任制を導入しているので、学習や実習、その先の就職について、教職員は学生との個別対応を重視している。毎年のことではあるが、しっかりと連携をとっていることが感じられる。
- ・学校外部へのボランティア活動を推進する姿勢は、社会貢献・福祉につながる実践であり、今後も継続・継続して行ってほしい。
- ・在学期間のみではなく、卒業生に対しても積極的に協力体制をしていることが感じられる。

(6) 教育環境

- ・学校以外での、多様な学びの場を提供できている。
- ・清掃活動など、自らが過ごす場所を良好に保つ活動は、就職後に向けても有益な意識付けとなる。学生の就職後も見据えた生活指導を行って欲しい。

(7) 学生の受入れ募集

- ・入学者数はここ数年安定しており良好である。引き続き適正な募集活動を行ってください。

(8) 財務

- ・良好である。

(9) 法令等の遵守

- ・特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・地域の小学校での学習支援ボランティアは、毎週の事で、決して簡単なことではないと思うが、継続していることに学生と職員の社会貢献度の意識の高さを感じる。今後も学生主体の活動ができるように職員が一丸となり継続支援をしてもらいたい。